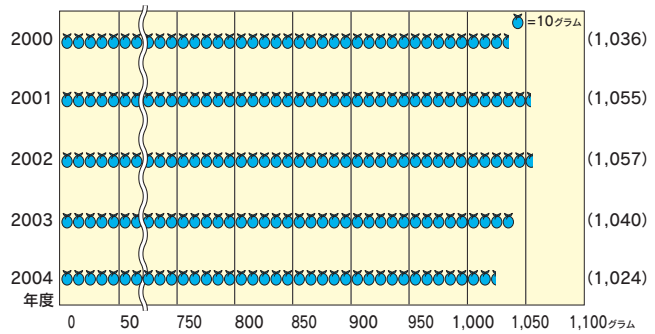


(2) ごみと住みよいくらし

生活が便利になるにつれて、わたしたちの出すごみの量（排出量）はとても多くなり、2004年度（平成16年度）では、県全体で約79万トンとなっています。

●1人1日当たりのごみの排出量のうつりかわり



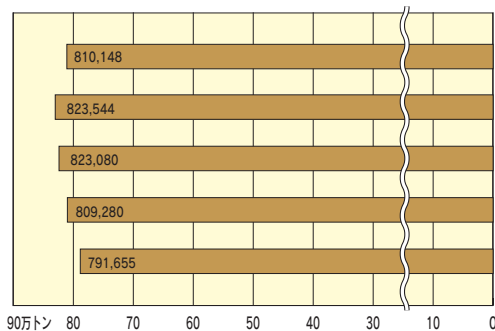
また、これを県民1人1日当たりのごみの排出量はいしゅつりょう になおすと、2004年度（平成16年度）では1,024グラムとなっています。

また、ごみを処理するために、毎年、たくさんのお金が使われています。集めたり、燃やしたり、埋め立てたりするのうに、2004年度（平成16年度）では県民1人当たり年間約8,000円の費用がかかっています。

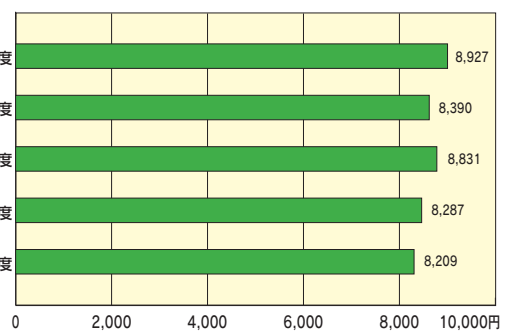


ごみの埋め立て処分場（三春町）

●ごみの排出量のうつりかわり



●県民1人当たりの処理費用のうつりかわり





リサイクルプラザ「クリンピーの家」(いわき市)



ペットボトルから
ボールペンや定規を
作ることも
できるんだ

増え続けるごみを少しでも少
なくするため、

- ①食べのこしをしない
- ②物を大切に長く使う
- ③再利用できるものは上手に^{じょうず}利用する

など、資源を大切に利用するこ
とが必要です。また、ごみを出
すときは、再利用できるものと
できないものにきちんと区別す
るなど、みんなが協力してごみ
を減らすことが必要です。

ごみの利用

せいそう工場では、ごみを燃やしたときの熱を温水プー
ルや発電などに利用しています。



あぶくまクリーンセンター(写真左)とその熱を利用したヘルシーランドの温水プール(福島市)